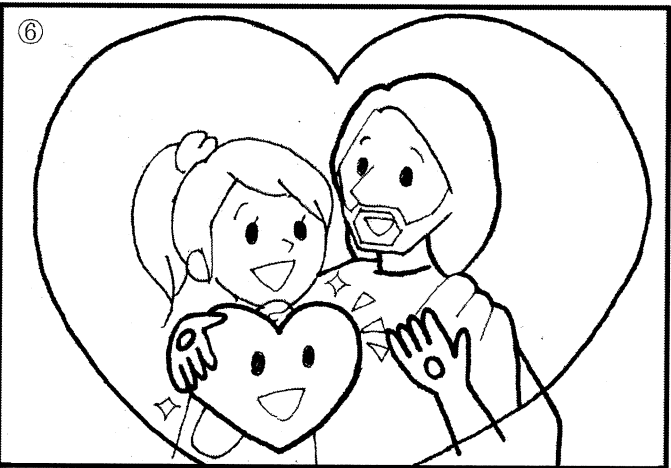
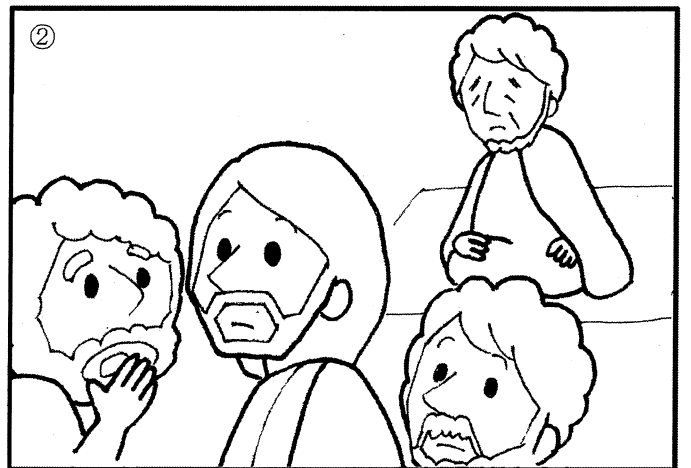
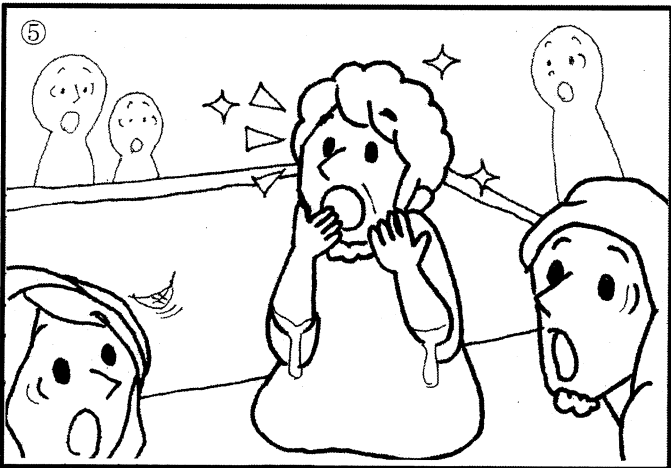
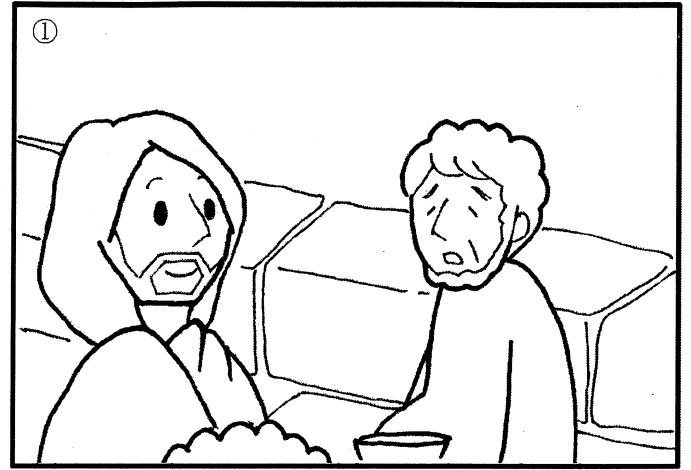
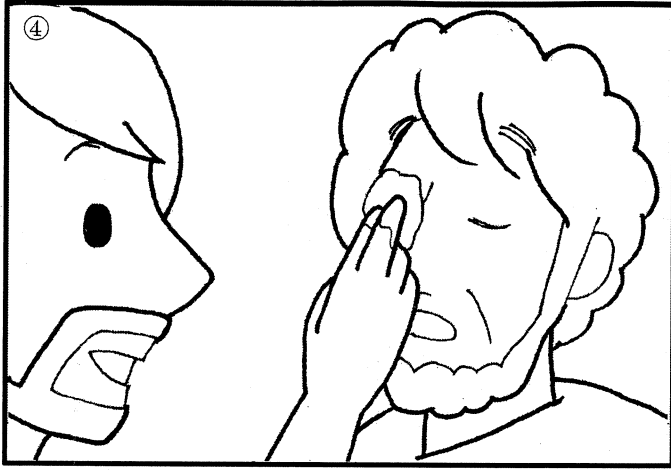


7月4日 創造者を覚える 伝道12・1～14

1. 今日の聖書箇所、伝道者の書を書いた人は、イスラエルの王様のようです。
2. 伝道者の書には「空」という言葉が何度も出てきます。「空」とはどういう意味でしょう。
3. この聖書箇所に書かれている「空」は、心の中がからっぽで、すべてはむなしく、さみしいということです。
4. わたしたち人間を造ってくださった神様を想うことで、心がからっぽでなくなりました。
5. 神様はかけがえのない、特別な宝物として、私たちを造ってくださいました。
6. どうか皆さんが、造り主である神様にお出会いし、イエス様と共に毎日を幸せいっぱいにご過ごせますように！

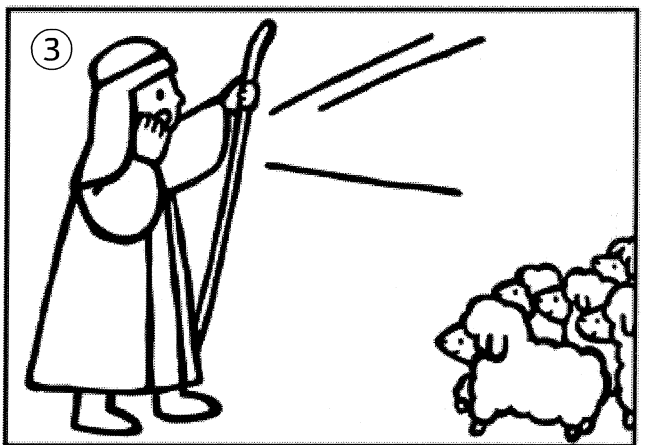
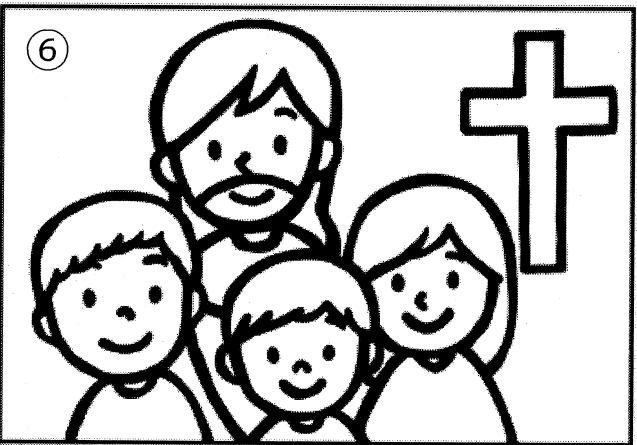
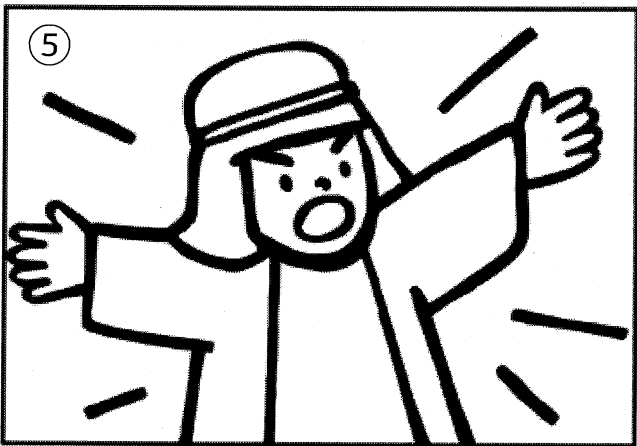
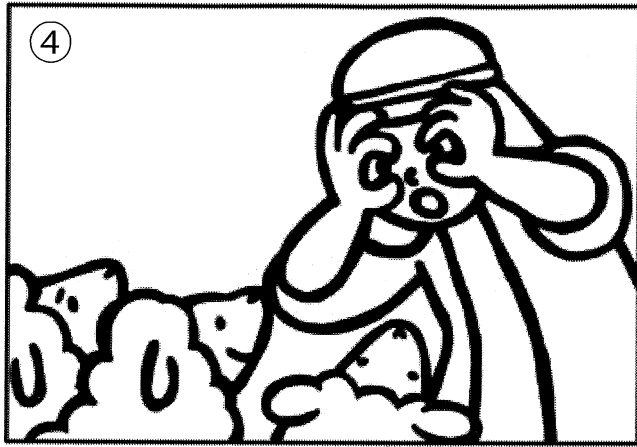
※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



7月11日 「心の目を開いてください」 ヨハネ 9・1～11

1. イエス様が、目の見えない人を見られている。
2. 「この人が盲人で生まれたのは…」とイエス様に尋ねている弟子。
3. 「この人に神のわざが現れるためです」と答えられたイエス様。
4. 盲人の目にどろをぬられるイエス様。
5. 盲人は、イエス様に言われた通りに、目を洗うといやされた。
6. 心の目を開いてくださるイエス様を信じる女の子。

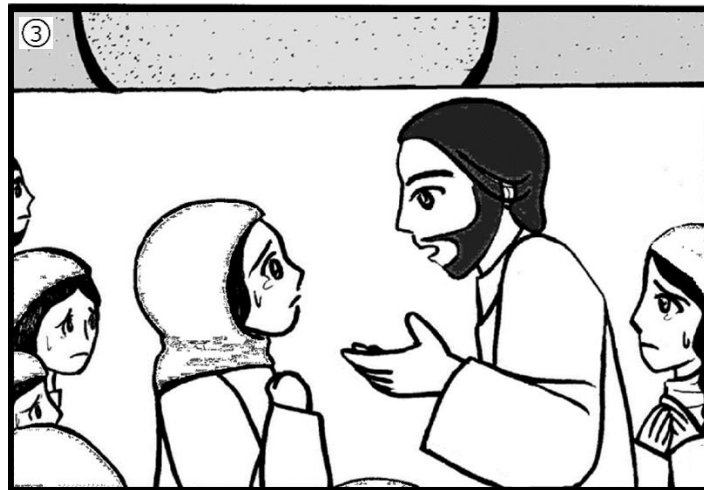
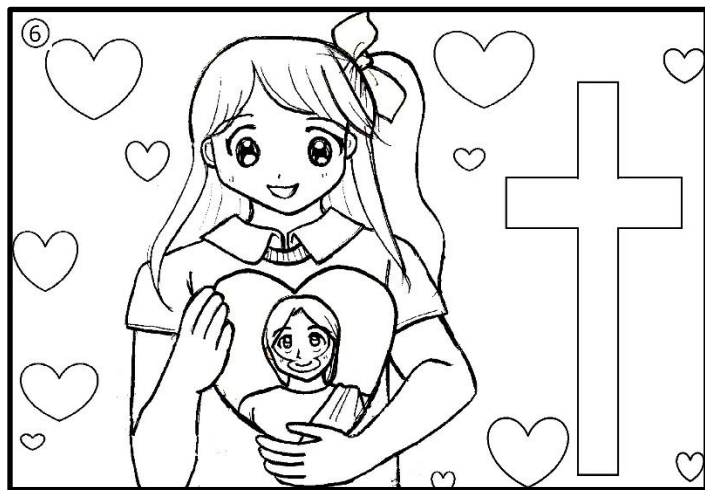
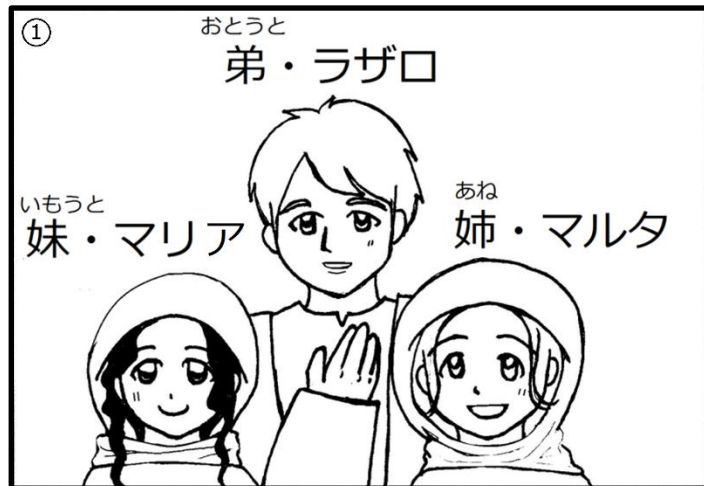
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



7月18日 よい羊飼いであるキリスト ヨハネ 10・1～15

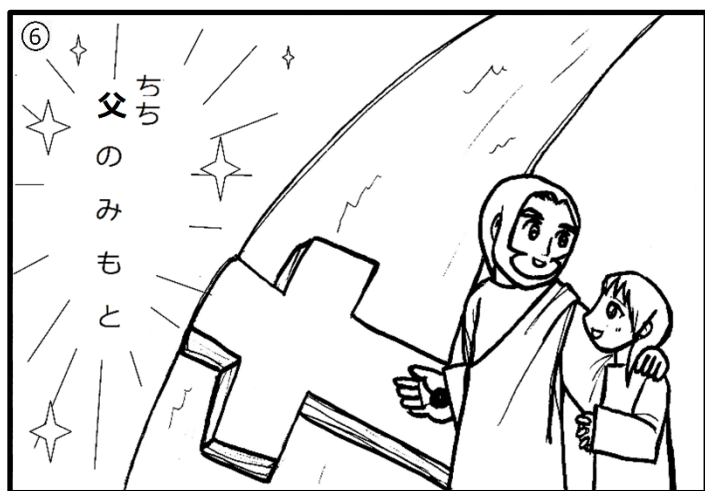
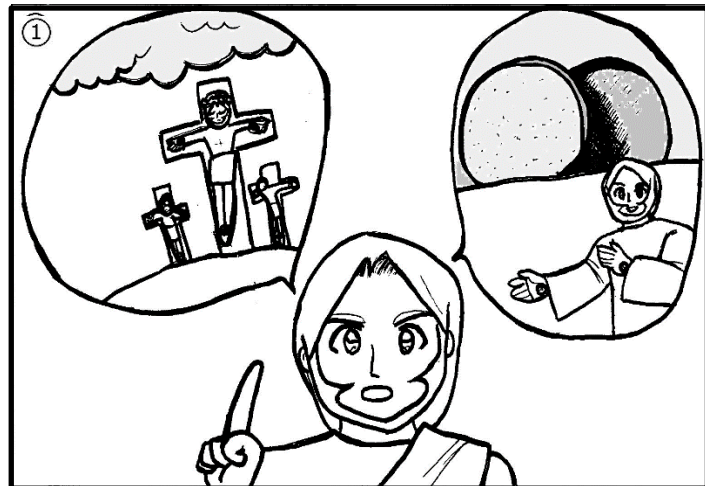
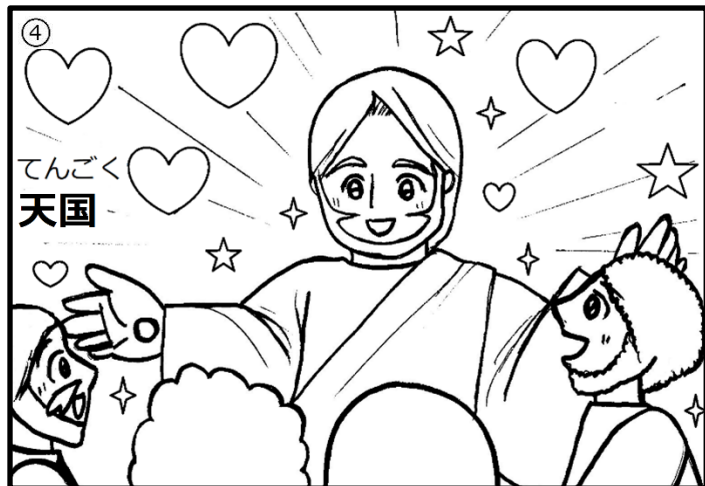
1. 今日は、「わたしはよい牧者です。よい牧者は羊たちのためにいのちを捨てます」というみ言葉を味わいましょう。
2. 皆さんは迷子になったことはありますか？とっても心細いですよね。
3. 私たちも私たちの羊飼、イエス様の声をよ～く聞き分けられることができるようになりたいですね。
4. 良い羊飼いは「羊のことを良く知って」います。名前を覚えて、よ～く分ってくれています。
5. 良い羊飼いは「門」になって、羊たちを命をかけて守ってくれます。
6. イエス様はいつも一緒にいて、守ってくださいます。そしてうれしい時には一緒に喜んでくださいます。

※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



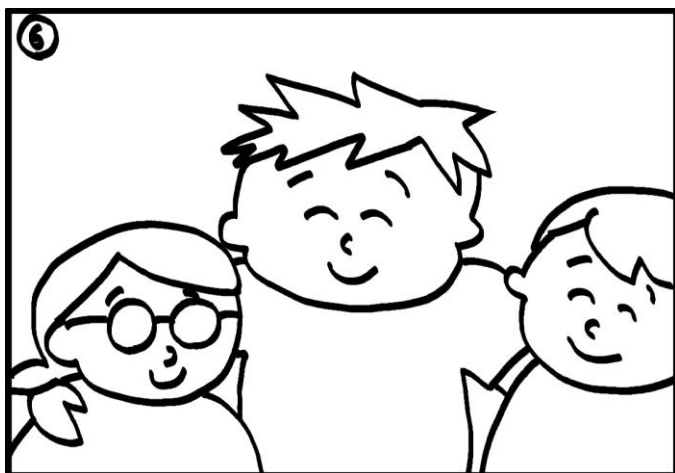
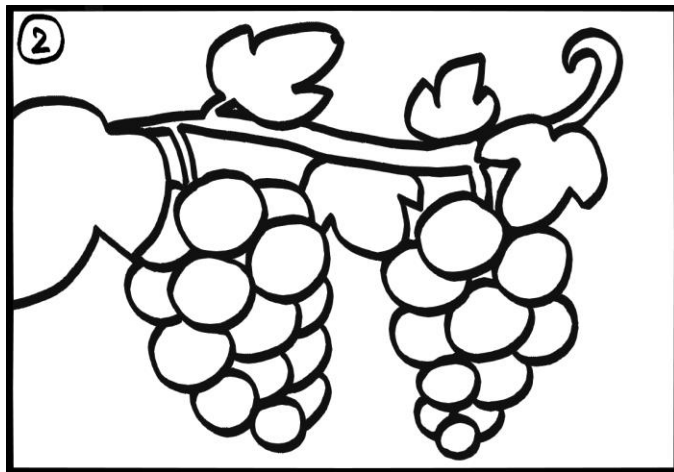
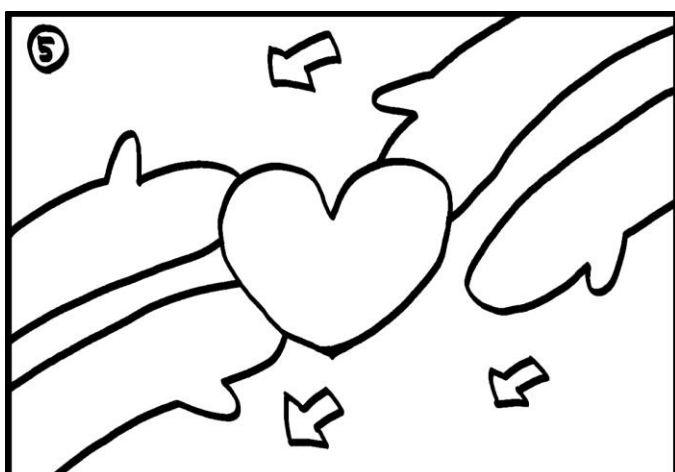
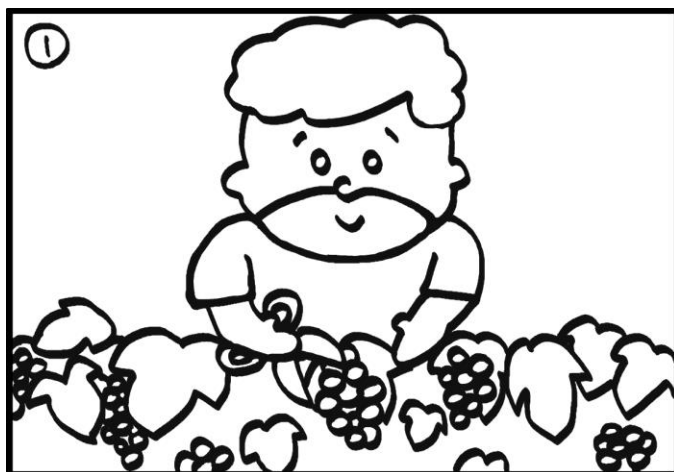
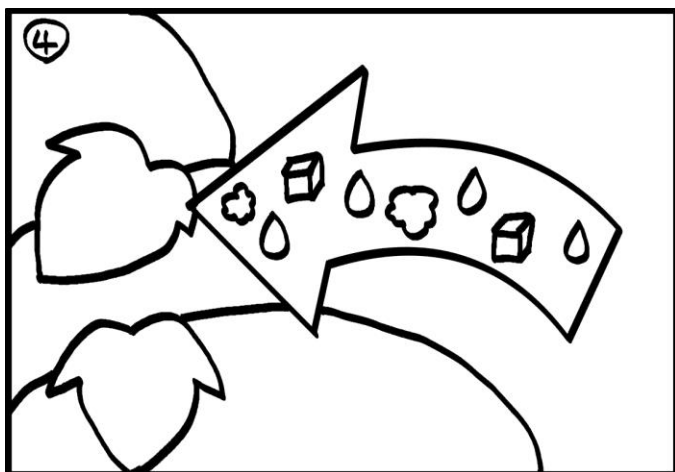
7月25日 いのちであるキリスト ヨハネ11・17～27

1. ベタニアという村にマルタとマリア、そして弟のラザロという三人兄弟がいました。イエス様はこの兄弟の家を何度も訪ね、みことばを語られました。彼らはイエス様を救い主であると、素直に信じていました。
2. 弟のラザロが重い病気にかかり、死にかかっていた。そこで姉のマルタはその事を、人を通じてイエス様に知らせました。イエス様が来られた時には、もうラザロは死んでお墓に葬られ、四日も経っていました。
3. 「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は死んでも生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者はみな、永遠に決して死ぬことはありません。あなたは、このことを信じますか。」とイエス様は問われました。
4. イエス様は、よみがえりの力を信じきれない人々を見て心が激しく震えました。
5. イエス様のよみがえりの力が現実の実際の力である事を見せるため、お墓に葬られていたラザロを生き返らせられました！
6. しかし今日、イエス様を救い主と信じているなら、いつかこの体は死んでも、魂は決して死なないのです。



8月1日 道であるキリスト ヨハネ 14・1～6

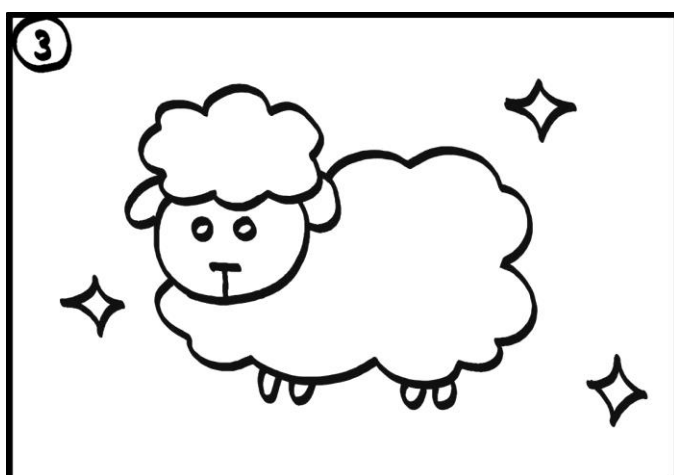
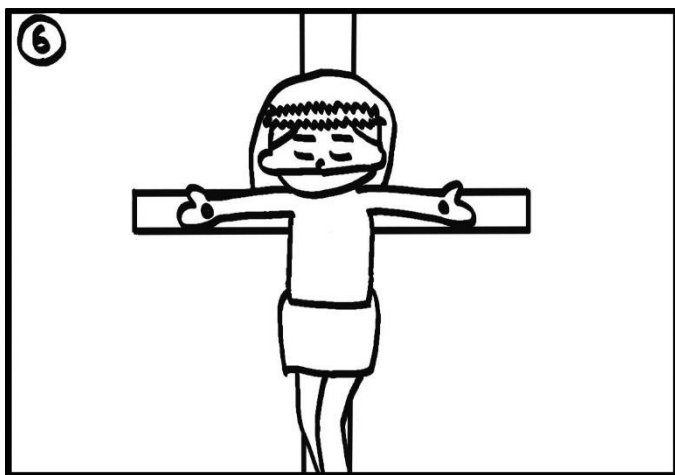
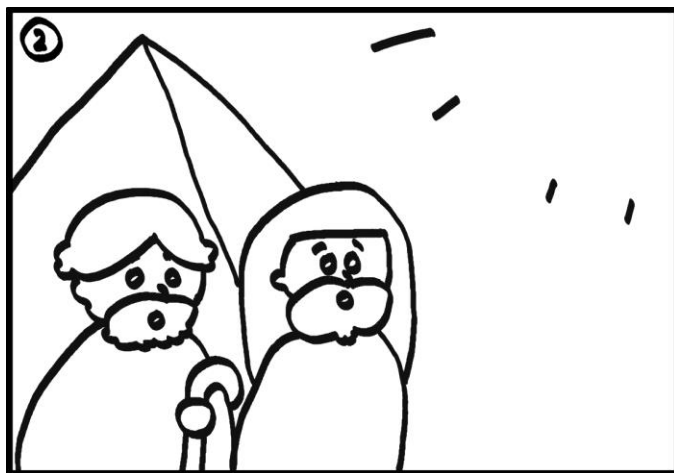
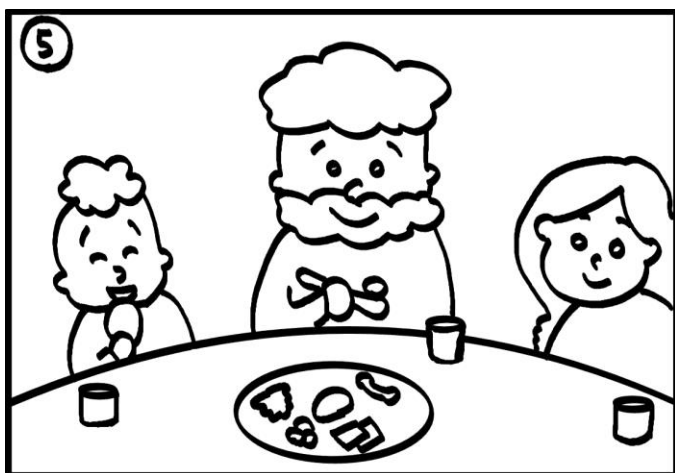
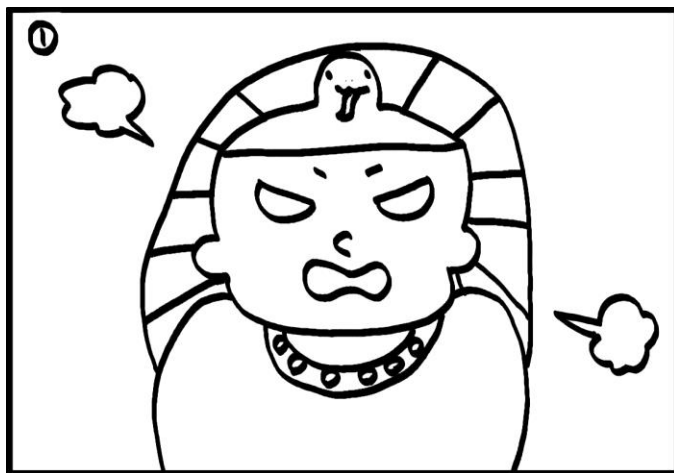
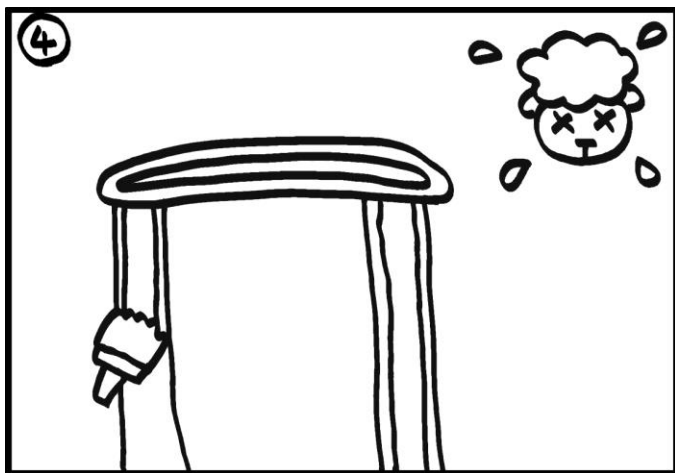
1. イエス様は弟子たちに、もうすぐご自分が（十字架にかかって）死なれる事と、その後よみがえられる事を予告なさいました。
2. 弟子たちは「イエス様は私たちを置いて、一体どこに行ってしまうのだろう？」と心が騒ぎ、とっても不安な気持ちになりました。
3. 天国についてこんなにハッキリ教えてくれるのは「神の言葉」である聖書だけです！
4. イエス様は、心を騒がせなくていい。心配しなくていい。父なる神様を信じ、また、わたしを信じなさい、そして、これからひと足先に父なる神様の家、天国に行って、あなたがたのために場所を用意する、と言うのです！
5. それでも、疑い深い（信じるのが遅い）弟子のトマスさんは、まだ不安そうな顔で聞きました。
6. わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。」（6節）。神の御子イエス様がそこに「橋」をかけてくださったのです！ご自分が、私たちの罪の罰を身代わりに受け、大きな十字架の橋をかけて下さったのです！



8月8日 「つながってる？」 ヨハネ15・1～8

1. ぶどうの木の手入れをする農夫。
2. 木につながることによって実を結ぶ枝。
3. イエス様はぶどうの木、わたしたちは枝である。
4. 木を通して枝に水や栄養が送られる。
5. イエス様を通して永遠の命をいただき、神の子とされる。
6. 私たちは互いに枝である。

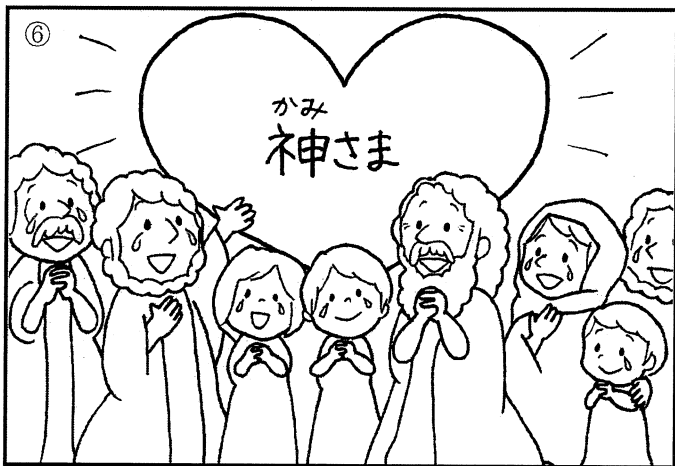
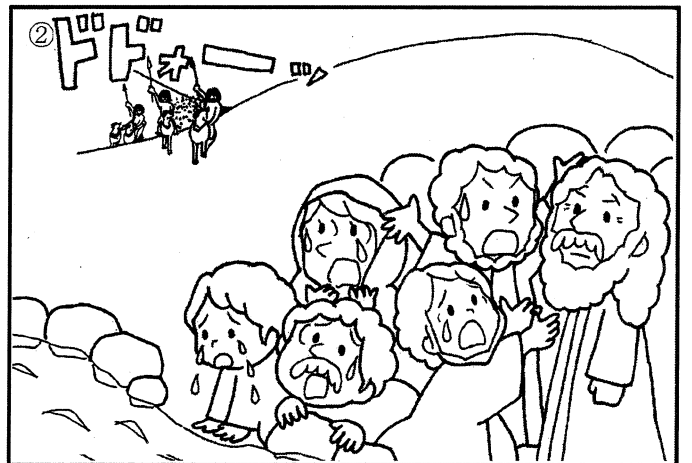
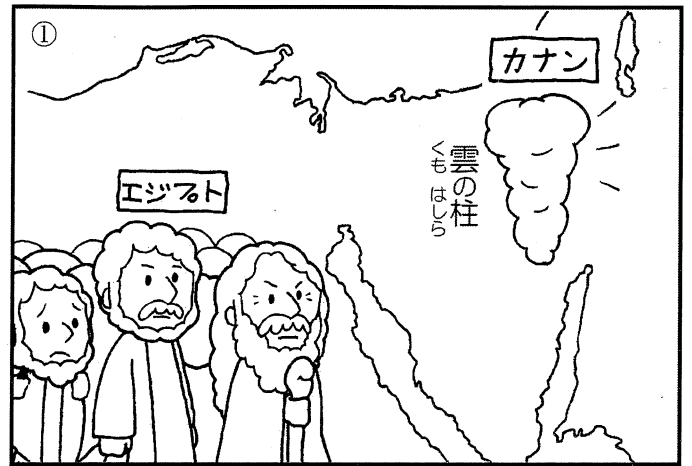
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を 200%拡大し、更に 141%拡大する。A3サイズは 200%拡大し、更に 200%拡大。



8月15日 「過越」 出エジプト12・1～14

1. ファラオはイスラエルの人々が故郷に帰ることを許さなかった。
2. 神様はモーセとアロンに過越の計画をお語りになった。
3. 傷のない一歳の雄の小羊を用意しなさい。
4. その羊を屠り、2本の門柱と鴨居にその血を塗りなさい。
5. 過越を毎年思い出してお祝いしなさい。(過ぎ越しの食事)
6. イエス様は私たちの救いのために十字架におかかりくださった。

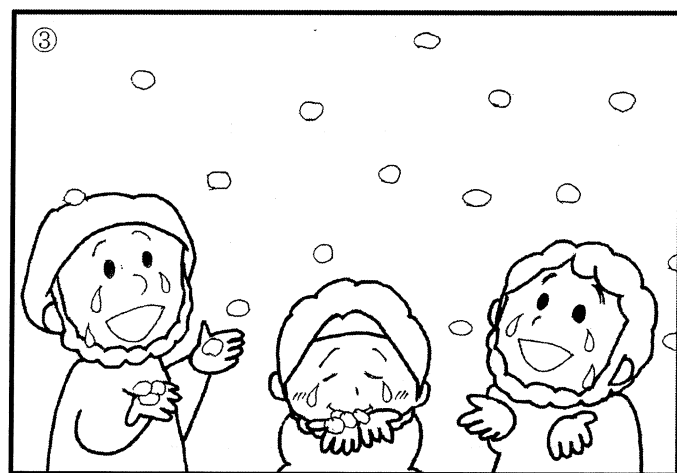
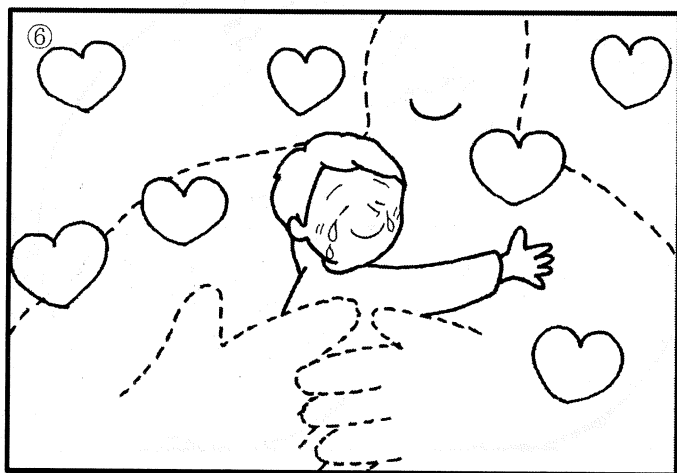
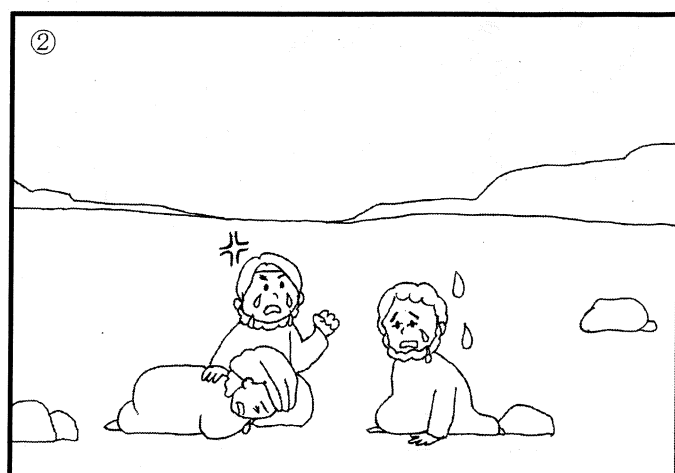
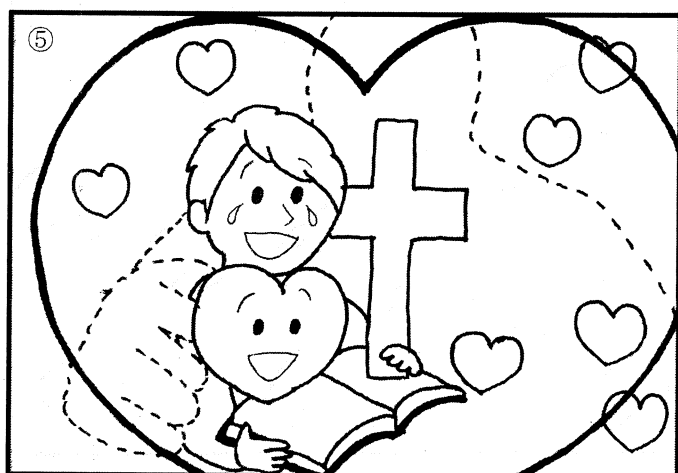
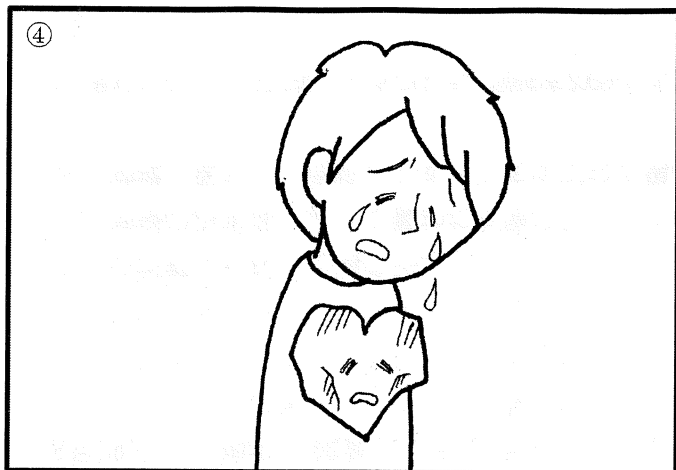
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を 200%拡大し、更に 141%拡大する。A3サイズは 200%拡大し、更に 200%拡大。



8月22日 「神様、助けてください！」 出エジプト 14・10～27

1. 雲の柱に導かれ、モーセをリーダーとして、カナンの地を目指して進んでいくイスラエルの人々。
2. エジプト軍が追いかけてきた。目の前は海で、イスラエルの民は、モーセに不満をぶつけた。
3. モーセは、「落ち着きなさい。今日、神様は必ずあなたたちを救ってくださる！」と言った。
4. モーセが杖を上げ、手を海に向かって差し伸べると、海が分かれた。
5. モーセがもう一度、手を海に差し伸べると、海の水が戻り、エジプト軍は溺れ死んでしまった。
6. 民は神様を畏れ、神様とモーセを信じるようになった。そして感謝の歌を神様にささげた。

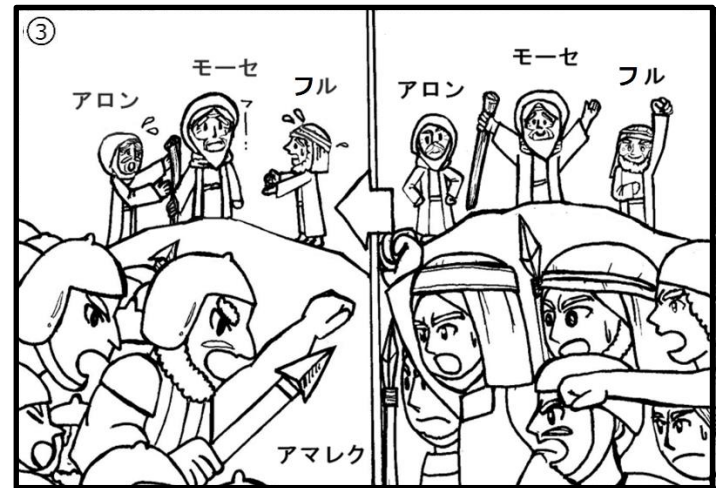
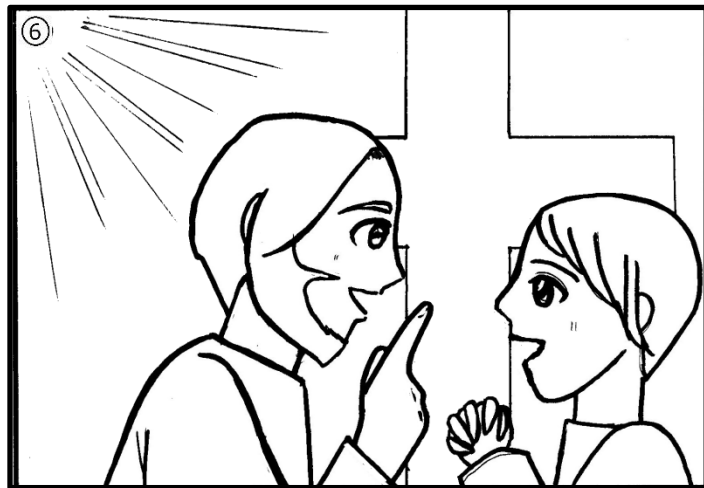
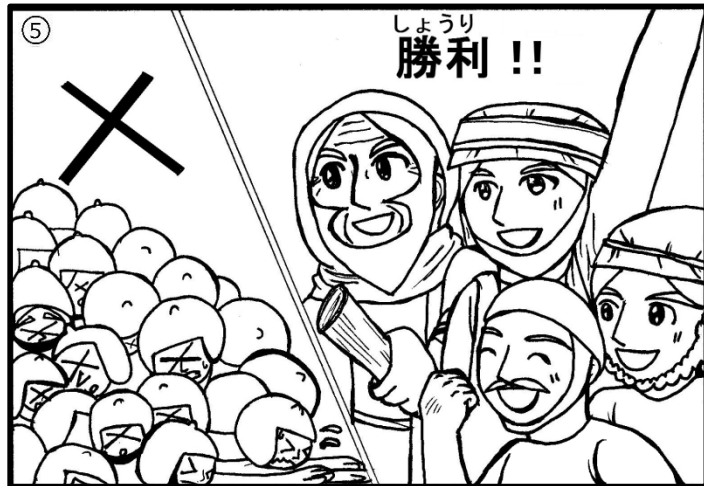
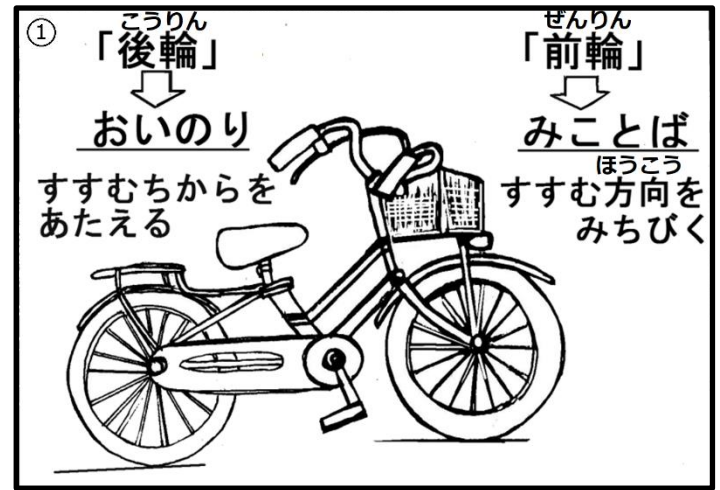
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



8月29日 「神様に信頼して歩もう！」 出エジプト 16・31～36

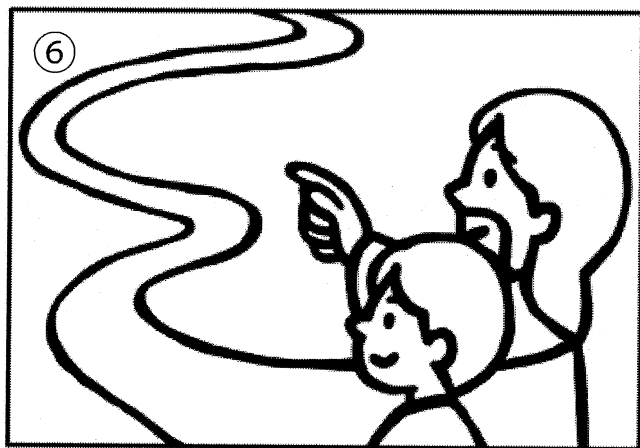
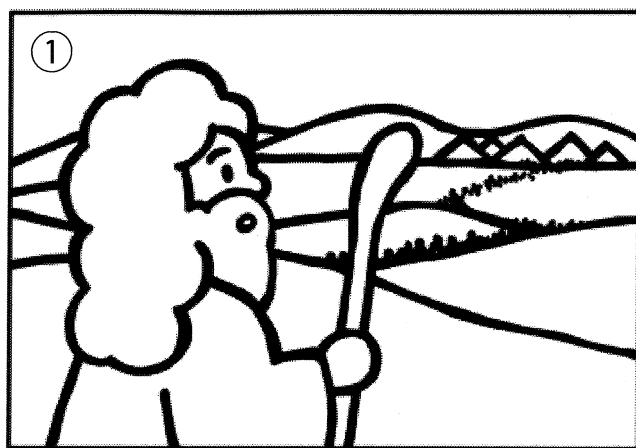
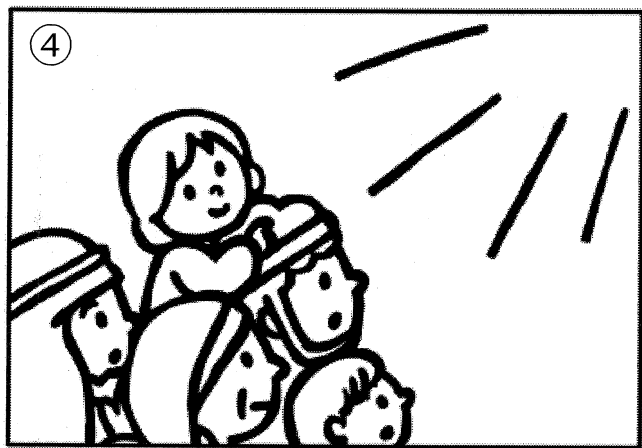
1. イスラエルの民がエジプトから脱出させてくださった神様に感謝している。
2. 荒野でイスラエルの民から不平が出た。
3. 神様は天からのパンを与えられた。
4. 心が貧しくなった男の子。
5. 神様のみ言葉によって養われた男の子。
6. 神様に留まり、信頼してすべてをゆだねる男の子。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



9月5日 祈りの手 出エジプト 17・8～16

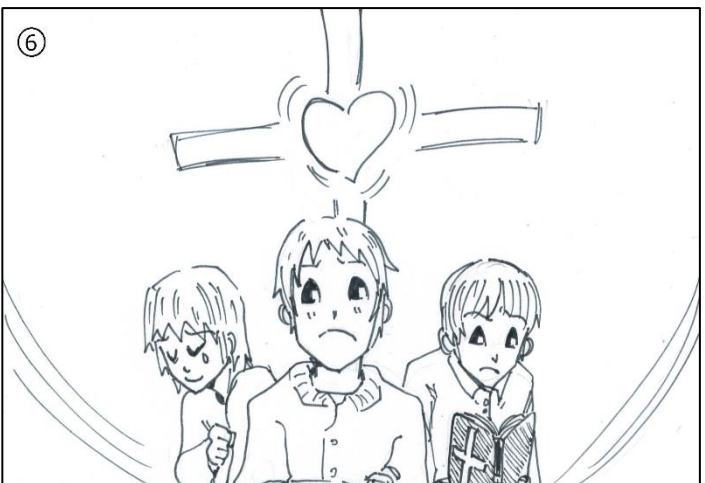
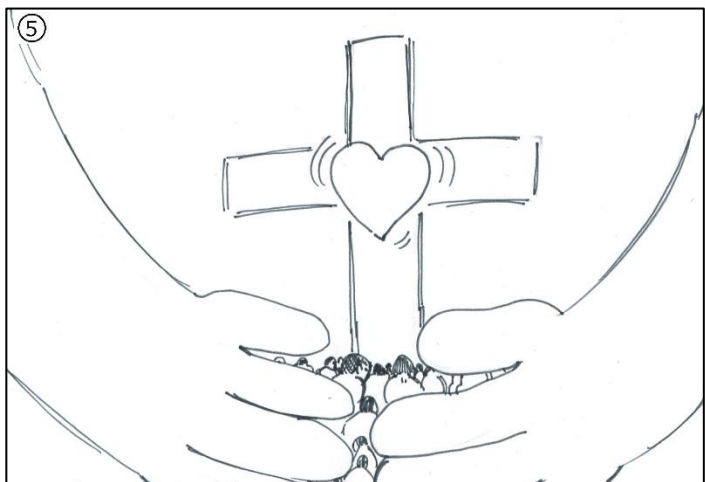
1. 「みことば」と「お祈り」、この二つはちょうど自転車の前輪と後輪のように無くてはならないものです。
2. 旅を続けるイスラエルの人たちに、アマレク人たちが旅の行く手を邪魔し、戦いをしかけてきたのです！
3. ヨシュアさん達が敵と戦っている間、モーセさんは手を天に挙げて、イスラエルが勝つように神様に必死に祈りました。長い時間祈り続けました。するとだんだん祈り疲れてきました。「ちょっと休憩…」と思って祈りをやめると、敵が勝ってきました。
4. 「いかん、いかん」と思って、また慌てて祈り始めるとイスラエルが勝ってきました。アロンさんとフルさんが右と左で手を支えたので、モーセさんは最後まで祈り通すことが出来ました。
5. 遂にイスラエルが勝利しました！
6. イエス様は「お祈り」について繰り返し、繰り返し、教えられました。「父なる神様の御心ならば、この祈りはどんなに難しくても、必ずかなえられる！」と、不可能を可能に出来る神様を信じて祈ることです！



9月12日 十戒 出エジプト 20・1～17

1. 出エジプト記は、イスラエルの長い長い旅の様子が書かれています。
2. モーセはある日、神様からシナイ山の頂上に招かれ、大切な十のお言葉を告げられました。
3. 皆さんは、どうしたら良いのかな？何と言葉をかけたらいいのかな？と迷ってしまうことはありませんか？
4. 十戒の第一番目のお言葉で、神様はわたしがあなたの神、主です！と自己紹介をされています。
5. 神様は私たちが罪の奴隷から自由になるためにこの十戒を与えてくださいました。
6. イエス様が今も私たちと共に生きてくださって、私たちのこれからの人生の道しるべ、進むべき方向を照らす光となってくださっているのです。

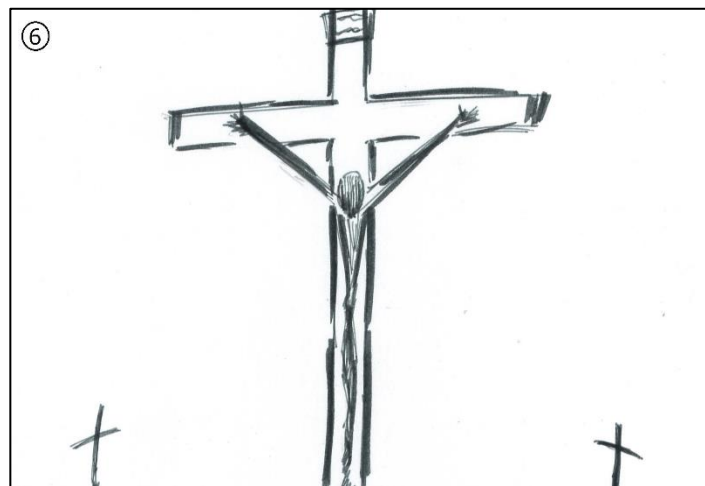
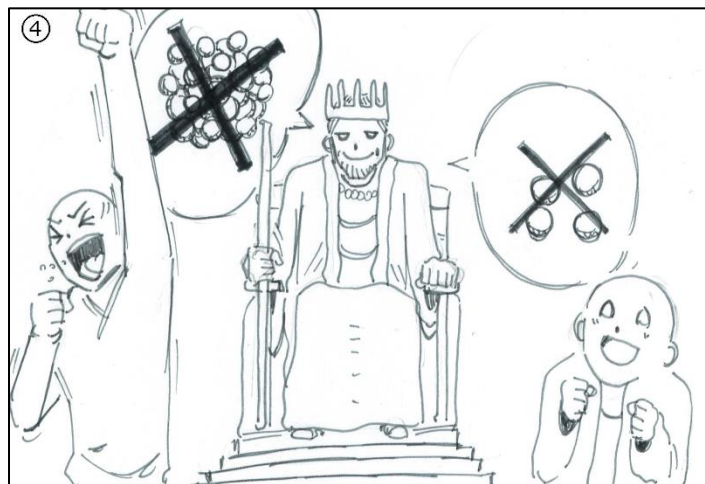
※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



9月19日 信じて見上げる 民数記 21・4～9

1. エジプトで奴隷となって苦しんでいたイスラエルの民が、神様によって救い出されて、エジプトを脱出するのです。しかし、その道中にイスラエルの民が、神に不平不満を言いました。
2. それで神様は、燃える蛇を民の中に送ったのです。その蛇が民をかみ、多くの人が死んでしまいました。
3. 「青銅の蛇を作って、それを旗ざおの上につけなさい。蛇にかまれた者は、それを仰ぎ見れば、生きる。」そして実際に、その青銅の蛇を見上げた者は、生きたのです。
4. イエス様はこの出来事と、ご自分が後に十字架にかけられることを重ねて、ニコデモという人に話されたのです。
5. 神様の私たちに対する愛。その最大の現れが十字架なのです。イエス様が十字架で死なれたのは歴史的な事実であり、神様が愛のためにとられた行動です。
6. だから、十字架を見上げ、イエス様をじっと見つめる時に、ああ自分は大丈夫なんだ、って、心にストンと落ちるものがあります。別に涙を流すほど感動しなくたっていいんです。よくわからなくてもいいんです。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



9月26日 罪赦された者として ルカ7・36～50

1. 今日のお話の中には一人の女性が出て来ます。聖書にはその女性について「罪深い女」としか書いてありません。彼女は一体どんなふうに罪深かったのでしょうか。
2. でも彼女はイエス様のもとで涙を流した時、苦しくて泣いたわけではありませんでした。むしろその逆です。彼女は嬉しくて泣きました。
3. しかし、この場面を冷ややかに見ていた人物がいました。イエス様を食事に招いたパリサイ人シモンです。
4. 金貸しが、二人の人の借金を帳消しにしてあげたけれど、この二人のどちらがたくさん感謝するでしょうと
いって、それはもちろん金額が大きい方だよねと。
5. イエス様は「この人は多くの罪を赦されています。彼女は多く愛したのですから。」と言われましたが、私たちが多く愛したから多くの罪が赦されるものではありません。聖書の日本語は少し難しいですが、あくまで、主が罪を赦してくださったことの方が先なのです。
6. でも、私たちの罪を帳消しにするために支払われたものがありました。それは他でもない、イエス様のいのちです。